工業部会通信

相模原商工会議所
工業部会発行
編集
かながわ経済新聞社
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL：042（851）2021
FAX：042（851）3532
プリントしてご自由にお読み下さい。

かながわ経済新聞 KANAKEI

ロボ協議会本格稼働へ

技術力を内外に発信

共同開発プロジェクトも

相模原商工会議所が事務局となる「さがみはらロボットビジネス協議会」（渡邊将文会長＝ＭＥＭＯテクノス社長）が本格稼働した。同協議会はボット関連技術を持つ中小企業や大学、支援団体、それに金融機関などで構成。市内の中小企業が参入しやすい環境を整えていく。

開発中の「さがみ楽ロボ」

相模原市から委託事業として商工会議所が事務局を運営する。

同協議会は、地元中小企業や大学、研究機関、金融機関など10以上の団体が参加。主な事業として①中小企業魅力ＰＲ②ロボット技術高度化事業③ロボット技術実用化ネットワーク形成事業―などを進める。

具体的には、ロボットに関する展示会「ジャパンロボットウイーク」への共同出展や市内企業ＰＲに向けたガイドブックを作成。ロボット技術に役立つ市内企業の技術力をアピールしていく。

また、地元中小企業と大学などの研究機関による研究開発も促進する。現在、永進テクノやコバヤシ精密工業、エム・エイチ・アイさがみハイテック、埼玉大学大学院と共同で、高齢者などがトイレでの立ち座りをアシストする「さがみ楽ロボ（特許出願中）」の開発プロジェクトが始まっており、協議会で支援していく。

なお、相模原市は県がすすめる「さがみロボット産業特区」の中核エリアに位置づけられている。

県は、ロボット技術の本格的な実証実験に踏み切る前に、動作チェックなどを行える県内唯一の「実証フィールド」を市内の旧新磯高校に設置している。

産業交流展に工業企業出展

11月19～21日、東京ビッグサイトで「産業交流展２０１４」が開かれた。東京都などの主催。

同展示会は東京・埼玉・千葉・神奈川の個性あふれる中小企業の優れた技術や製品が一堂に展示。首都圏では最大級の中小企業展示会とされている。

ＭＥＭＯテクノスや相模螺子、片岡製作所、ティーケー工業など工業部会の企業も出展。独創技術を広くアピールした。詳細は次回号で掲載予定。

介護福祉への参入、セミ開催

さがみはらロボットビジネス協議会は12月10日の午後6時半～同8時まで、相模原市民会館2階・第2大会議室でセミナーを開催する。参加無料。

「生活支援ロボット開発にむけた介護・福祉ビジネスのポイント」と題した。同分野のロボット産業の市場規模は、今後拡大が見込まれており、中小企業の参入が期待されている。

同セミナーでは知っておくべき「介護保険制度」を開発者の視点で解説していく。

また、介護現場でのニーズ紹介や参入企業が現状を話す。定員60人。

問い合わせは産業振興課・高井０４２（７５３）８１３６まで。

エネルギーの未来触れる

ＴＲＹ視察会「熱電プラザ」など見学

参加した工業部会員

相模原商工会議所工業部会ＴＲＹプロジェクト（杉本祥一委員長＝ハイスポット社長）は21日、「エネルギーソリューション視察研修＆横浜ロイヤルウイング交流会」を実施した。

今後のエネルギー社会についての見識を深めると同時に、会員企業の交流を図るのが狙い。19人が参加。同日に東京ビッグサイトで開かれた「東京ガスエネルギーソリューション展・熱電プラザ２０１４」などを見学した。

一行はまず、業務用・産業用の需要家を対象とした総合展である「熱電プラザ」を視察した。会場には、エネルギーサービスや蒸気、燃焼機器、再生エネルギー、空調、給湯設備といった各分野で最新技術・製品が展示されていた。

続いて、同じ東京ビッグサイト内で行われていた中小企業総合展「産業交流展」も見学した。ＭＥＭＯテクノス（相模原市緑区）など、工業部会の企業も出展した。

その後、横浜に移動し、「みなとみらい二十一熱供給株式会社」を訪問した。

「みなとみらい二十一熱供給」の視察

同社は、みなとみらい中央地区に熱供給する事業会社として１９８６年に設立。同地区の開発とともに規模を拡大し、現在では日本有数の規模を誇る熱供給会社となっている。一行は担当者から地域冷暖房システムの説明を受け、世界最大級の冷凍機などのプラント見学を行った。

視察終了後は懇親会も行われ、参加者たちは交流を深めていた。

視察に参加した松岡康彦・工業部会副部会長（湘南デザインＣＥＯ）は「産業革命ともいうべきエネルギー革命が起こっている。ガスも今や単なる熱エネルギーではなく発電など、広範なエネルギーに変わってきている。それに伴い、今後は様々な周辺機器も生まれる。地域中小企業にとってもビジネスチャンスになる」と感想を述べていた。

低炭素社会をめざして星に願いを込めました。

いま東京ガスが目指しているのは、低炭素社会の実現です。その核となる取り組みが「スマートエネルギーネットワーク」。太陽熱・太陽光などの再生可能エネルギーを積極的に取り入れ、それらを天然ガスがバックアップ。不安定な再生可能エネルギーをガスコージェネレーションシステムと組み合わせ、未利用熱も活用しながら、地域で電気や熱を融通し合うことで、最適なエネルギー利用を実現します。

低炭素社会へ。
東京ガスは取り組んでいます。
http://www.tokyo-gas.co.jp/